

団体名	山陽女子高等学校		
	代表者	緒方 康之	記載者 緒方 康之
所在地(市区町村名のみ)	岡山市中区門田屋敷2-2-16		
活動目的	日本の未来を創る子どもたちに関わることは「未来の日本を創っていく」活動にもなると信じています。・自分たちが岡山で出来ることとして、地域貢献として東日本大震災で母子避難を余儀なくされた岡山にいる方々(約800人)の支援も行っている「特定非営利活動法人ふぁみりえんのたくじ」の資金援助のためのチャリティーバザーです。バザーの売り上げを寄付します。地域が一体となって取り組み「より良い社会づくりのため地域の方がお互い出来る事で支え合うボランティア」を目指しています。		
団体の紹介	JRC(ジュニアレッドクロス)とは青少年赤十字のことです。人間の生命と尊厳を大切にできる子どもたちを育成することを目的に、学校教育の場で教師を指導者として展開されている世界の赤十字が提供する児童・生徒の教育プログラムです。赤十字の基本原則は、人道、公平、中立、独立、奉仕、単一、世界性の7つから成っています。現在山陽女子中学高校生合わせて28人で活動しています。		
助成を受けての活動内容	☆山陽女子JRC部が行う地域貢献活動 ①NPO法人「0-99おかやまおしえてネット」(ふぁみりえんの託児)への資金援助のためのクッキー材料代金とプリンター代金。 ②NPO法人岡山市子供センター主催の夏休みフリー塾の様々な子ども教室へのボランティア参加と「笑顔がはじけるクッキー教室」の企画・運営のためのクッキー材料代金。(試作を兼ねて有効利用させていただきました。) 部員で手作りクッキーを作りそれを「山陽女子JRCチャリティーバザー仁」で販売して、合わせて募金も行いました。9月7山陽女子高等学校文化祭(本校)のバザーで試作。・10月11日「2014年岡山鉄道の日フェア」(駅前)の「チャリティーバザー仁」。寄付は11月8日の「0-99おかやまおしえてネット」のボランティアに参加の折に代表の洲脇さんに渡す予定です。(寄付した領収書(コピー)は後日発送させていただきます。) 部員で手作りクッキーを作りそれを「山陽女子JRCチャリティーバザー仁」で販売して、合わせて募金も行いました。9月7山陽女子高等学校文化祭(本校)で試作。・10月11日「2014年岡山鉄道の日フェア」(駅前)の「チャリティーバザー仁」。寄付は11月8日の「0-99おかやまおしえてネット」のボランティアに参加の折に代表の洲脇さんに渡す予定です。(寄付した領収書(コピー)は後日発送させていただきます。)		
助成を受けての成果	地域の多くの子どもたちや保護者の方々に大変喜ばれました。東北の皆さんにも喜んでいただきました。メディアの方々も協力して下さったので、反響も大きかったです。		
今後の活動の課題点	今年度の活動は、貴財団のご厚意無しにはできませんでした。本当に感謝しています。原材料費も含め全ての売り上げを寄付していますので今後資金も含めた活動資金と如何にこの運動をみんなで広げ、支えていくかが課題です。		
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)			

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。

A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)

写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。